

第181回中央委員会(2/1) 青年部は高教組の未来の希望

組織拡大で運動の前進を

中央執行委員長
雨松 康之



国会での絶対多数を背景に安倍政権の暴走が続いています。しかし、アベノミクスの破綻と平和と民主主義を守る運動によってそう遠くない時期に安倍政権が深刻な政治的危機に陥ることは間違いありません。では、今、私たちは何をすべきなのでしょう。

昨年11月5日、ニューヨーク市長選挙があり約100年ぶりに革新市長が誕生しました。ビル・デベラシオ市長です。デベラシオ市長の選挙スローガンは「だれも置いてきぼりにしない」でした。選挙公約は、無料の保育園と学童保育、10年で20万個の低所得者向け住宅の建設、福祉、教育労働者の賃上げなどです。財源は、大企業及び富裕層への増税でまかなうとしています。結果は、共和党候補を73%対24%の大差で破る圧勝でした。

デベラシオ市長は民主党候補として立候補したのですが、民主、共和の二大政党の枠におさまらない活動をしてきました。実際、彼の政治基盤は労働家族党です。これは政党ではなく、労働組合や地域の草の根運動の連合体です。労働家族党も今回の市議会選挙で10名が当選し、51議席の内、20議席が進歩的なグループで占められるに至ったそうです。

一部の企業や富豪、そしてティーパーティーなど極右勢力に支配されてきたニューヨークでの政治的な転換は労働組合と市民組織との連合の力で実現しました。現在東京都知事選が戦われています。私たちが学ぶべき教訓がニューヨーク市長選挙の中にあるといえます。具体的には、一点共闘の運動を統一戦線運動に発展させること、そして貧困と格差を拡大する多国籍企業中心

の経済政策を地域循環型、すなわち地域が潤う経済政策を明確に打ち出すことだといえます。

安倍政権は、今国会で憲法解釈を変更し安全保障基本法など集团的自衛権の積極的行使が可能な法整備を行おうとしています。国家安全保障会議の設置や秘密保護法の強行によって文字通り戦争する軍隊・国家づくりへ超えてはならない一線を既に超え、本格的な戦争体制づくりに進もうとしています。一方、このような中であって東アジアの平和的安全保障を構築する動きが活発になっています。「インド・太平洋友好協力条約」、「アジア・太平洋安保・協力の原則的枠組み宣言」、「北東アジア平和協力構想」などです。ところが、中国の軍事大国化と覇権主義的行動が強まり、そして日本の戦争国家化が東アジア最大の軍事的緊張要因となっています。その中で、10年後には、中国がアメリカの経済規模を超え世界一の経済大国となろうとしています。経済的にも軍事的にも決して無視できない存在であり、アメリカ以上に友好関係を築かねばならない国といえます。いまだに日米軍事同盟、戦争国家づくり一本やりの外交政策しか持たない安倍政権はアジアで孤立の一途をたどっています。憲法9条を持つ日本が東アジア、北東アジアでの平和の経済共同体づくりでイニシアティブをとることが求められています。そして軍事力ではなく東アジアにおける平和の経済共同体の構築こそが日本がアジアで生きていく道といえます。そのためには、ドイツのように侵略戦争への反省と償いのための具体的行動が不可欠です。靖国神社参拝など論外です。

さて、安倍政権は、今国会を「教育再生

国会」と位置づけ、道徳の教科化、教科書検定基準の見直し、教育委員会制度の廃止などを強行しようとしています。その狙いが多国籍企業中心の経済を支え、戦争する軍隊・国づくりのための人づくりにあることは間違いありません。戦後民主教育を完全に否定するようなことをすれば子どもたち、そして日本の未来はどうなるのでしょうか。安倍教育改革に反対する私たちの役割には大変大きなものがあるといえます。

最後に井戸県政について簡単にふれたいと思います。第3次行革プランは井戸県政の本質を表すものとなっています。その象徴は、年収80万円以下の老人医療費助成の4割削減、母子家庭等医療費助成の6割削減です。福祉の増進が使命である地方自治体が最も困難を抱えた人々から命綱ともいえる予算を削減する一方で、なぜ莫大なお金を高規格道路推進に投入する必要があるのでしょうか。この井戸県政の反県民的姿勢こそが特別支援学校でバス添乗を民間委託し平気で介助員の解雇を進めようとする根幹にあるものです。

今年度は、総合共済は12月に既に現勢を回復しました。組合員拡大でも、各支部1名の組合員加入を実現すれば昨年の2倍の拡大も視野に入ってきています。青年組合員の加入も相次いでいます。100名に達した青年部は高教組の未来への希望です。これらの成果は、高教組の取り組みと実績への信頼が寄せられているあかしです。中央委員のみなさんの討議で高教組運動前進のための方針が深められることを期待し開会の挨拶とします。



発行所
神戸市中央区北長狭通5-2-10
兵庫県高等学校教職員組合
TEL 神戸(341)6745-6747
E-mail
honbu@hyogo-kokyoso.com
http://www.hyogo-kokyoso.com
発行人 兵庫県高等学校教職員組合中央執行委員長
雨松 康之
編集人 福次 寛
定価 1部 20円
半年分 120円
組合員の購読料は組合費含め徴収



永井副委員長の
開会宣言



水川副委員長の
開会宣言



中村書記長の提案

中央委員からの発言

許せない!

県会議員によるセクハラ・女性蔑視

神戸高塚高校分会
松山和子



昨年十二月の新聞報道には本当にびっくり。十月の自民党県会議員団懇親会で男性議員が「女は金で買うもの」といいながら、女性議員に「一万円でどうや」と抱きついた、という記事。これが事実なら、すべての女性に対する蔑視であり、このまま県会議員を続けることは納得できない。県政を付託された者としての信用を大きく失墜させた行為であり、事実確認のう

え、議員辞職を求めたい。

学区拡大問題と組織の在り方

西宮南高校分会
福住宏之



学区拡大問題で9月末に市教委交渉をしたのち、運動ができていない。それまでは毎月署名推進の会を開催し、駅頭での宣伝行動も実施してきたが、県議会の否決以降どのように運動を継続していくか考慮中である。学区拡大が高校入試や中学生生活にどんな影響を与えたのか十分に検証していくことが必要である。本部の提起を期待している。来年度の支部執行員会をどのように持てば多数の分会からの参加が得られるのか、開催の曜日

も含めて支部執行委員会で検討中である。組織拡大について、2月3日には全力を挙げて取り組みたい。

分会訪問と教員評価

尼崎支部 尼崎北分会
朽尾 三一



4月に分会訪問をしました。喜んで迎えてもらいました。そして支部にも来てもらえました。大変うれしく思います。教員評価の不服申し立てをしましたが、みなさんも一度やってみましょう。雲行きが怪しくなってきましたが、がんばりましょう。

中央委員からの発言

神戸市高の予算・定員の取組
神戸市高
橋尾 明



1年間の対市要求運動の総決算として、1月22日に統一行動を配して、21日に最終の徹夜交渉を行った。学級数の増減に応じて教員数の適切な配置を求めることであった。結果は、学級数が増える学校では、定数法に応じて教員数を増やし、学級数が減る学校では、5名減のところを激変緩和として、2名の常勤講師の配置を認めさせた。市立幼稚園は、近年の特徴として特別支援を要する園児が増加し、そのための人的補助が強い要求としてだされた。結果行革路線の中、パート2名増やすという増員の回答を得た。組合の存在意義を示すことができ、今後これらの成果を組合員の拡大に結びつけたい。

職場の要求
西脇工業分会
市川 宏之



勤務時間の縮減について県から指定校となっている。しかし、現場では会議も書類も何一つ具体的な成果はあがっていない。県教委は本気でやろうとしているのか？
工業高校では一昨年より実習費が大きく削減されている。本校では足りない分を生徒から徴収することとなった。実習用のガスやフィルター

など本来県費でまかなうべき物品を生徒や保護者が負担している。実態を県当局は知るべきであって、各校に調査をしてもらいたい。

組織改善についてアンケート
豊岡総合分会
徳田 昭彦



本部の組織改善案について、分会アンケートを行った。その中で反対意見のあったのは、組合費の値上げであった。分会の意見は、「値上げ反対。むしろ値下げが急務」「負担が大変」「脱会者が増える」「入る人が少なくなる」...組織がスリムになれば削減も可能ではないでしょうか？一分会の意見であるが参考に考えていただければありがたい。

現場の多忙化について
東灘分会
永易 茂雄



支部委員会の中で職場の多忙化のことが話題になった。特に若い教師が、それが当たり前のように、超勤を繰り返している。働き方がいつの間にか働かされ方になってしまっている状態である。毎日遅くまで仕事をして土日も部活動で勤務し、いったい授業研究をいつしているのか。しかもそれが教師として当たり前のようになっている若い人が多い。そうではなく、教師は自由でなければならぬ、訴えたい。支部ニュースで、若い人への組合加入のきっかけにしたいと思う。

ニューイヤーパーティーと赤穂特支の連続教研
佐用分会

藤本 慎司

西播支部としてニューイヤーパーティーを実施する。午前中の学習会は、姫路総合法律事務所の園田弁護士が、「秘密保護法」の問題で話してくれることとなった。

組織拡大では、赤穂特別支援学校が成果をあげている。魚釣りや登山などのレク活動など魅力的な分会活動をしていることが理由だと思われる。この赤穂特支では毎週火曜日に分会教研という試みをはじめた。全5回の予定らしい。他の分会で簡単に取り入れられることではないが、大きく勇気づけられている。

できることを
姫路工業分会
松本 実可



女性部は月一回会議をしているが、それをうけて会議ができていない支部は少ない。会議がなくなると楽にはなるが、力は弱くのでは。新しい人に支部女性部長をってもらうことを考えた。中西播共同の支部女性部行事を今後も続けていきたい。分会ではニュースを配り署名を集めている。協力してもらえればと感ずる。総要求や校長交渉ができるようになりたい。「一日一分高教組運動」高教組のニュースを読む、隣の人に署名をまわす、掲示板にポスターを貼り替える。できることをやっていきたい。

子どもたちに平和な未来を手渡そう！ STOP！「戦争する国」づくり

憲法をないがしろにし、日本を「戦争する国」にしようとする動きが急を告げています。それと一体に、教育を「戦争する国」を支える人材づくりに変質させようとする動きも加速しています。安倍政権は、今国会にも、解釈改憲による集団的自衛権行使、教育委員会制度改悪を強行する構えです。しかし、こうした動きに抗して、「平和と民主主義を守れ」「憲法と教育を守れ」の国民世論が高まり、運動が広がっているのも事実です。私たちは、教育現場にはたらく者として、目の前の子どもたちに平和な未来を手渡すために、まずは学習を深め、一人ひとりから声をあげ、共同をひろげてゆきましょう。

「教え子を再び戦場に送るな」 今、私たちが声をあげるとき！

職場で、地域で、おおいに学習・対話をすすめましょう
子どもたちに、おおいに憲法を語りましょう！
学習会や全国学習決起集会に参加しましょう！
私たちの運動は「数が力」です。まだ組合に入っていない方は、ぜひ、この機会に **兵庫高教組**に加入しましょう！

安倍「教育再生」STOP!! 憲法を守り、いかそう

3・29全国学習決起集会

2014年3月29日[土]

会場 日比谷野外音楽堂(東京)

開会 12時30分(開場 12時)



文化行事・主催者あいさつ・連帯あいさつ
基調報告・I LOVE 憲法メッセージ・
リレートーク

銀座パレード：15時出発

お話し 小森 陽一さん

東京大学教授・「九条の会」事務局長



主催
全日本教職員組合(全教) / 教組共闘連絡会 / 子ども全国センター

教育講演会

「安倍教育改革ってなに、教育はどう変わるの？」
～中田先生と考える、私たちにできること～

3月3日(月) 18:30～20:30

主催：兵庫の教育共闘

講師 中田 康彦さん (一橋大学大学院教授)

神戸市勤労会館 308号室